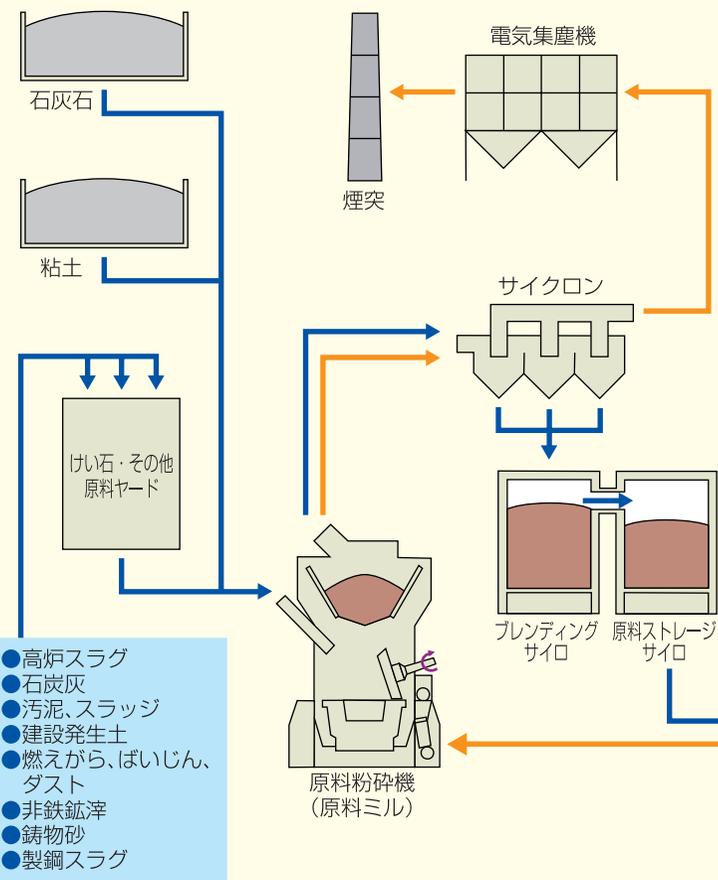
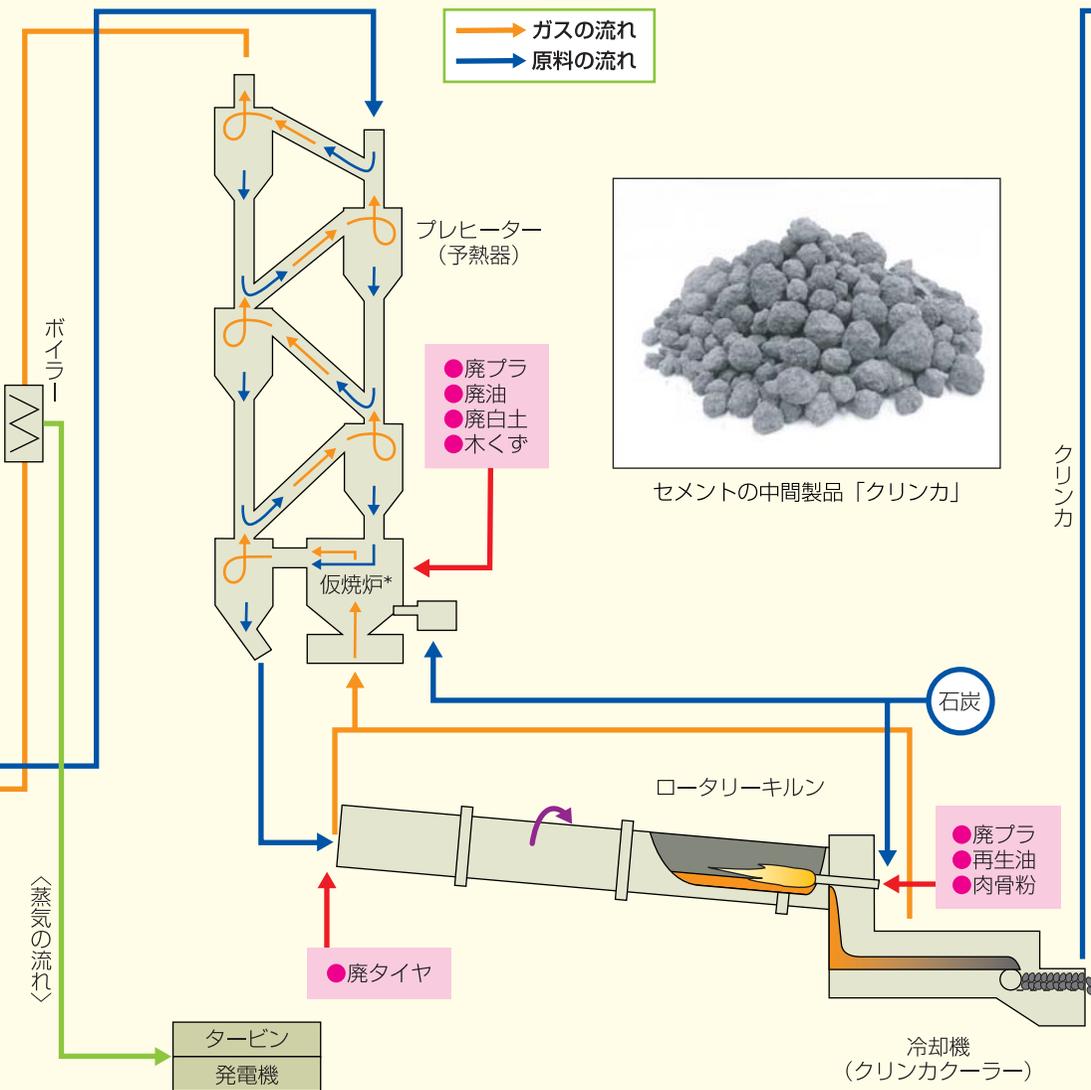


## 原料工程



①原料・粉砕工程：主な原料である石灰石、粘土、けい石、酸化鉄原料を中心に、所要の構成成分になるように粉砕、乾燥、混合して成分が安定した粉体原料を作ります。最近では、多くの廃棄物・副産物を熱エネルギーや原料の代替として活用しています。原料代替として使用するものは、その成分を有効活用できるように混合しています。

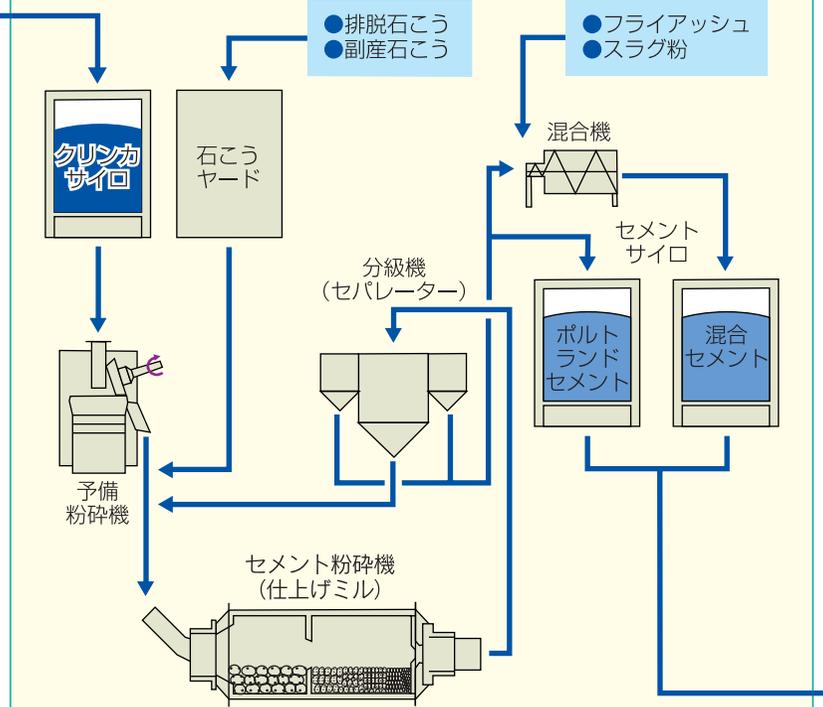
## 焼成工程



②焼成工程：この工程では、粉体原料を所定の温度になるまで加熱し、セメントとしてのすばらしい機能を発揮する水硬性の化合物になるように焼成します。最高温度（1450℃）に達して所定の化学反応を終えた後、エアークエンチングクーラーで一気に冷却してクリンカ（写真）と呼ばれる黒い塊を作ります。

\*注)プレヒーターは、仮焼炉の有無で2つに分類される。仮焼炉の有るものをNSP（ニューサスペンションプレヒーター）方式、無いものをSP（サスペンションプレヒーター）方式という。現在移動中の57基のうち48基がNSP方式、残りの9基がSP方式である。

## 仕上げ工程



③仕上げ工程：焼成工程で得られたクリンカに、セメントの硬化速度を調整する役割を果たす「石こう」を加え、細かい粉末になるまで粉砕してセメントが完成します。また、高炉セメントやフライアッシュセメント等の混合セメントは、この工程で高炉スラグやフライアッシュ等の混合材をセメントに加えて作ります。

## 出荷

